

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県高崎市の榛名神社

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 災害対策本部会議の報告
3. 現地活動報告①
4. 現地・事務所協力員の感想文

災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

＜現地＞ おかげさまで今月は目処がたちました。

ご協力ありがとうございました。

来月も引き続き募集します。連休を利用してぜひ石巻へ！

＜事務所＞活動日変更に伴い、月～金（祝日を除く） 10時～17時に活動していただける方を募集します。

半日からのご参加でも構いません。

頻繁に参加できなくても、1～2ヶ月に1回、又は単発のご参加でも結構です。

現地支援活動が続く限り、それを支える事務所の活動も続きます。

皆様のご協力をお願いいたします。

現地・事務所職員募集！！

現担当者の任期満了にあたり、下記の職員を募集します。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

(1) 現地常駐者（短期契約職員） 2名

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・4月より勤務開始希望

(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）1名

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇
- ・4月より勤務開始希望

***業務の都合等により残業や休日出勤となることがあります。**

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川・一原

次回災害対策本部会議について

前回の議事録は「災害対策本部からのお知らせ」のあとに掲載していますのでご確認ください。
次回は5月12日(土)18:00～協会事務所 会議室にて本部のメンバーで活動の方針を話し合う予定です。ご意見や検討事項などがありましたら、**5月8日(火)までに**、災害対策本部事務所まで電話・メールでお寄せ下さい。

全国大会に向けて

5月24日(木)～26日(土)に群馬で開催の全国大会では、以下、災害関連の企画を予定しています。ご期待下さい。

- ・5月25日(金) 15:00～18:00 シンポジウム
- ・5月26日(土) 9:00～12:30 分科会(現地支援活動と事務所支援活動について3演題)
- ・パネル展示 昨年度1年間の活動を報告予定です。
- ・書籍販売 9月30日までの活動記録を販売予定です。

<活動記録集の出版について>

この災害支援活動の記録集として『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1(仮)』の出版を行います。今回は第1弾として2011年9月30日までの記録集です。全国大会で皆様にお披露目できるよう、現在急ピッチで作業を進めております。どうぞご期待下さい。なおこの記録集は、主に参加された皆様からの活動報告書を編集しています。また巻末には参加者のリストをつける予定です。お名前が載る方については事前にご連絡を差し上げますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

研修情報

5月27日(日)に災害ソーシャルワーク研修Iを開催します。
群馬県で行われる全国大会の翌日、同県内での開催ですので皆様奮ってご参加下さい。
詳しくは前号の災害支援ニュースか、協会ホームページをご覧ください。

Facebookでも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。
応援よろしく申し上げます。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

第4回 災害対策本部会議

2012.4.6(金) 19:00～

(敬称略・順不同)

出席 佐原・笹岡・武山・梅崎・中川・一原 **欠席** 山田・飯島・小淵・坪田・東

1. 災害支援活動全体について

- (1) 昨年度収支報告、今年度予算
- (2) 石巻市委託業務に関する報告、今年度の提案
- (3) 人員と組織の体制について

●2012年度 組織と役割分担

| 役割 | 担当 | 備考 |
|------------|------------|----------------|
| 行政・関連団体の折衝 | 笹岡副本部長 | |
| 現地での相談支援活動 | 武山氏 | |
| 現地事務所管理 | 武山氏 | |
| 自動車管理 | 中川事務局長 | |
| 本部事務管理 | 東氏 (依頼予定) | |
| 資金調達 | 坪田理事 (") | 助成金申請 |
| 決算および収支報告 | 坪田理事 (") | 助成金決算と毎月の報告 |
| 活動報告作成 | 権田理事 (") | 助成金・各種提出物作成 |
| 広報・報告 | 飯島理事 (") | 理事会報告、ホームページ管理 |

●今年度の石巻市との契約について

3月28日、笹岡副本部長が石巻市担当者と面会し委託契約を締結。3.5名分の委託で、うち2.5名が在宅避難者支援、1名が仮設住宅支援。業務内容は細かく規定されておらず、その時々々の状況・ニーズに合わせて、こちらから提案が可能。但し仕様書によると、詳細な報告書の提出など昨年度よりは求められることが多い。

●現地の人員体制について

武山氏の後任候補として4月2日から依光則子氏が着任。5月の連休以降もう1名雇用の可能性あり。武山氏には当面スーパーバイザーとして関わっていただく。現地責任者が2名になることから、協力員は原則として2名を定員とする。曜日については、現在土日の茶話会・相談会は行っていないため、なるべく平日にお願いする。現在、大阪・高知など都道府県協会単位での協力の申し出があり、この旨相談していく。

また、在宅避難者のプロジェクトが二次調査・三次調査に向けて大きく動いており、特に4～6月については、会議のある木曜日を含む週後半に、事業全体の把握も兼ねて、本部長・副本部長・梅崎氏がローテーションで必ず行くこととする。協会理事からも協力の申し出があることから、どうしても3名が行けない週は、協会理事に協力を仰ぐ。

●財政面について

石巻市からの委託費は、当協会がさらに手厚い体制を整えられれば、上乘せの余地もあるが、今のところ

ろ 3.5 名分で年間 1260 万円、月額にして 105 万円。これで人件費+協力員派遣費（主に交通費）+事務所・宿舍等の維持費などをまかなって行かなければならない。今年度も助成金の申請は精力的に行っていく。協力員の交通費は、定員を 2 名とする代わりに、当面は上限を設けないこととする。ただしなるべく安価な手段をとってもらよう協力は仰ぐ。

●活動拠点について

中里サポートセンターでは、SW 2 名分のデスクと宿泊のための部屋（男女別）を用意してくれている。中立性を保つことは前提として、事務所機能はそちらに移していく。宿舍としてアパートを残すかは今後の財政状況も見ながら判断。

●人事全体について

現地責任者については今後も募集を継続。事務所担当者については、都内の大学院生達に働きかける。

2. 事務所支援活動

(1) 年度替りに伴う諸々の変化

- ①活動日・人員体制 月～金（実質は火・木・金） 10～17 時に変更
- ②ボランティア保険
- ③災害派遣等従事車両証明 片道利用のみの制度が 6 月 30 日まで延長

(2) 広報

- ①ホームページ 古いまま残っていたページの改訂と、動画（活動概要）のアップを予定
- ②災害支援ニュース
 - ・ 1 巻から 2 巻に変更した
 - ・ 確認者について（当面現状のまま、武山さんが終了したら後任の方に）
- ③Facebook Follow 数：24 人（2/28 現在）→44 名（4/5 現在）
- ④その他 展示用パネルを作成予定（まずは全国大会で使用）

(2) 災害支援 SW 報告会

- 前回までの決定事項 2～3 ヶ月に 1 回 地方で開催し、開催地域の状況に合わせ共催か主催
共催の場合は本部からも可能な範囲で参加する
- 大阪協会 3 月 2 日（火）19:00～実施
5 月 13 日（日）13:00～16:00 本部メンバーの参加を検討
- 神奈川県協会 協会内で検討して下さっているため、今後相談していく

3. 現地支援活動

(1) 石巻医療圏 健康・生活復興協議会

① 梅崎氏のクラウド使用のいきさつと協力についての確認事項

石巻医療圏 健康・生活復興協議会の在宅避難者支援のプロジェクト始動後、SW にフォローを依頼されるケース数が膨大となり、現地だけでは対応できない状態となった。そこで、インターネット環境があればどこでも使用できるクラウドシステムの特性を生かし、現地以外でもフォロー電話を分担することを検討。試験的にクラウド ID を 2 つ追加取得し、災害対策本部事務所と、その当時武山氏との協力体制がとれていた埼玉県立大学 梅崎氏とで行ってみることとなった。この件で副本部長の笹岡氏より、協会以外

の場所で石巻のデータにアクセスすることへの疑義が発議され、検討した。その結果、当協会がこの協議会の一員として在宅避難者に対するフォロー件数をただこなすだけにとどまらず、データ分析をし、SWとしての提言を行っていく必要があることから、今後の展開に梅崎氏の協力を得る必要があり、クラウド内の当協会が対応したデータについては、当面梅崎氏が担当して分析等することを今会議において確認した。

②情報管理

クラウドの取り扱いについては、当初 ID を 3 つ取得し、現地事務所で使用していた (ID 名「日本医療社会福祉協会 01~03」)。追加取得した 2 つの ID は、個人名での登録が必要であったため、ひとまず部長名と手続き時に関わった梅崎氏の名前で取得した。ID「佐原まち子」を災害対策本部事務所で使用し、ID「梅崎薫」の使用については梅崎氏の職場のパソコンに限っているが、協会外の場所での使用のため、情報管理につき書面で誓約書を交わすこととする。

個人の協力員については、前回会議で取り交わさない方針となったが、その後活動者から改めて誓約書を交わす必要性について提案が寄せられた。しかし、仮に活動者が ID とパスワードを記憶して外で不正にアクセスした場合には追跡できること、業務量としても現実的でないことから、やはり書面での誓約書の取り交わしは行わないこととする。

③第 2 期調査の調査項目

第 1 期調査が 3 月で終了し、第 2 期調査については、4 月中に調査項目の検討を行い、5 月から開始予定。第 2 期調査は対象世帯数が 16,000 世帯と大幅に増え、その中で SW の関わりが必要なケースをいかにスクリーニングするかが重要であること等から、当協会も企画段階から関与し提案をしている。協議会事務局サイドの提案に当協会からの提案を合わせ、近日中に調査員と協議する段階。この提案事項も協会としてきちんと議論をつくして行う必要があるが、月 1 回の本部会議では議論しきれない。研究会的な部門を設けることも検討するが、現地での次の打ち合わせが 4/11 に迫っているため、差し当たって阪神淡路大震災での支援経験者である武田副会長の意見を聞くこととする。

……以下、書面にて報告……

<前回の課題のその後の進展>

①現地石巻医療圏 MSW ネットワーク 3/28 石巻赤十字病院 SW 訪問 5 月に集会の予定

②在宅支援 生活・健康復興協議会 サポートセンター 3 棟に増 宿泊可能に。

- ・行政、各職種、スタッフの MSW への信頼が進み、助言への要望、今後への期待 大
- ・第二次調査 組み立て協議中
- ・包括支援センターとの関係構築 介護支援専門員スタッフと協働

③仮設支援

- ▽孤立防止 「医療ソーシャルワーカーをご存知ですか？」ポスター掲示板貼出し
チラシ全戸配布 …新着任者の現地見学、被災地見学を兼ねる
- ▽自治組織形成 他団体との協働 …市立病院健康相談会 ボランティア団体
住民活動支援 …お茶っこ、カラオケ、うたごえなどに参加しながら、活動をサポート (管理問題) 医療・福祉・介護・就労などの問題支援
- ▽見守り支援員のサポート 社協・支所等と協働 問題ケースへの関わり支援ほか

▽地域組織との連携

民生委員、行政委員、町会、(町会費問題)

▽宮城県サポートセンター支援事務所の来訪

宮城県・宮城県社会福祉士会

<全体の進行>

- ①4月からの体制 異動による変化 ・市立病院 巡回 5月から減 病院開設準備 崎山師長
・災害復興協議会 専修大から社協住所へ
火(在宅)・木(仮設サロン) 会議定例
- ②市への報告の書式・内容 検討

<災害ソーシャルワーク>

- ①アセスメント調査・仮設アンケートからの分析
- ②事業参加 MSW からのヒアリング、報告書の整理

4. 講演、学会発表など

(1) 群馬大会

- ・分科会3演題
- ・シンポジウム
- ・その他、災害対策本部として行うこと 活動記録販売
パネル展示(1年間の活動報告・協力員リスト)

(2) 日生財団助成金事業

- ・5月27日(日) 災害ソーシャルワーク研修I
- ・8月4日(土) 災害ソーシャルワーク研修II

5. 活動記録の出版

群馬大会での販売に向け急ピッチで作業中(3000冊作製予定)

今月中に仕上げ、GW前に印刷業者に持ち込む予定。皆さんが発表で作成・使用した資料を集めたい。

6. 次回予定(5月12日 18:00~)

今後、毎月第1又は第2土曜日に開催する

5月12日(土) 18:00~

6月2日(土) 17:00~

7月21日(土) 18:00~

現地支援活動報告①

町原 誠治（大阪府 大阪府済生会泉尾病院）

期間：4月13日～4月15日

私がさせて頂いた活動内容は、「仮設住宅集会所での茶話会へ参加」「仮設住宅個々へ協会のPR活動」「被災医療機関へ協会のPR活動」「復興支援イベントへの参加」などの行程であり多くのことは語れませんが、そういったわずかな活動の中からではありますが、当たり前の事柄を含め以下のようなことを深慮しました。

- 一、まずは『現地に行く』こと。
- 二、活動を継続するという気持ちを持ち続けること。
- 三、現地の様子を確認した者は、多くの周囲に伝えること。
- 四、現地の方々の心情を鑑み、謙虚な姿勢で接すること。
- 五、支援の轍を築かれた先達の方々の功績を尊ぶこと。
- 六、様々な関係機関やシステム、行財情勢や自然の脅威などの全てに考えを馳せること。
- 七、人間のもつ力を信じ「復興とは」「支援とは」を自問自答し続けること。

最後になりましたが、現地で様々なご教示やご指導を頂きました武山様、依光様誠にありがとうございました。そして会員の皆様、大きな不安や大それた覚悟をもたず、『とりあえず、まずは現地を見に行く』ことをお願い致します。まずはそれからです。ぜひ宜しくお願い致します。



群馬県高崎市の榛名湖

現地感想文

4月9日（月）

風が強く、1年前の埃がやはりまだ街を覆っている石巻です。去年は咲いたけど、今年はやはり駄目だった、という草花、木々が多いとのこと。桜はどうかと歩いてみましたが…宿舎の近く、北上運河があふれた堤は…つぼみもついていませんでした。

昨年、1か月の怒涛の毎日を経て、生まれた石巻日赤のHワーカーのお子さん、今日1歳のお誕生日を迎えました。おめでとうございます！

4月10日（火）

石巻も春があちこちに芽を出しています。北上川も心なしかゆったりと光を反射させています。渡波へ超える山側で、なんと鶯の声を聴きました！春の風も、心地よいのですが…在宅住民への電話で、道も悪いし、街の埃が、という悩みが多数聞かれます。

4月11日（水）

9時からの会議、夜も遅くまで討議と春を楽しむ暇なし！でも桜は未だです。

4月12日（木）

本日も朝から終日会議となりました。支援にはいつてくださった現地協力員の方からも貴重なご意見が多くあり、検討内容に反映されております。

4月13日（金）

本日、大阪から3名の方が支援に入られました。石巻日赤の活動に興味を持たれ、簡単に院内見学&医療連携室に挨拶を行いました。大阪からは今後、組織的に支援に入られる予定とのこと。

4月14日（土）

北上川を下り、大川小学校にて慰霊後、雄勝病院・支所・包括・デイ・特養・社協・消防署と残った施設に同居の施設長にご挨拶してきました。被災した病院、支所ともに3階建ての上まで波をかぶった姿に涙が出ました。雄勝は未だ、瓦礫もそのままです。

事務所感想文

4月10日（火）

東（初台リハビリテーション病院）

今日は編集作業で来ました。皆さんの遊楽館での報告書を読み直し、改めてここまで繋がってきた支援、皆さんの力に感動しました。これからも自分の出来ることを続けていきたいです。

4月12日（木）

一原（自宅）

現地の協力員に応募して下さった皆さんの派遣調整を行ないながら、活動記録の編集作業や各種報告書の作成を行なっていて大忙しです。皆さんの活動をきちんと残す作業なので、自然と身が引き締まる思いです。

4月13日（金）

一原（自宅）

今月は新年度の忙しい時期で、2月・3月に比べると現地協力員の応募が少なく、皆様に協力の呼びかけをしつこく(?)させていただきました。おかげさまで何とか目処が立ちました。これからもよろしくお願ひします。